共通テスト英語リーディング
本番そっくり予想問題　第3回

解答・解説

80分・100点・大問8題

原田英語 haradaeigo.com

問題はすべてオリジナルで、大学入試センターとは関係ありません。印刷・授業での配布は自由です。再配布や販売はご遠慮ください。

正解一覧

第1問 問1　②（2点）

第1問 問2　④（2点）

第1問 問3　①（2点）

第2問 問1　③（3点）

第2問 問2　①（3点）

第2問 問3　④（3点）

第2問 問4　②（3点）

第3問 問1　③（3点）

第3問 問2　②→⑤→①→④（3点）

第3問 問3　④（3点）

第4問 問1　②（3点）

第4問 問2　④（3点）

第4問 問3　③（3点）

第4問 問4　①（3点）

第5問 問1　②（3点）

第5問 問2　①（3点）

第5問 問3　④（3点）

第5問 問4　③（3点）

第5問 問5　②・⑤（4点）

第6問 問1　③・⑤（3点）

第6問 問2　④→②→⑤→①（3点）

第6問 問3　②（3点）

第6問 問4　①（3点）

第7問 問1　②（3点）

第7問 問2　③・⑥（4点）

第7問 問3　④（3点）

第7問 問4　①（3点）

第7問 問5　③（3点）

第8問 問1　②（3点）

第8問 問2　④（3点）

第8問 問3　②・④**（順不同）**／③（4点）

第8問 問4　①（3点）

第8問 問5　③（4点）

第1問 （配点 6）動物保護施設の高校生ボランティア募集の掲示と、それを見た友人2人のテキストメッセージ

本文の要旨　動物保護施設が15〜18歳の高校生ボランティアを募集している。土曜か日曜の午前のどちらかを選んで4週間通い、初めての人は6月6日の研修に必ず出る。犬の散歩は16歳以上だけで、16歳未満は応募用紙に保護者の署名が必要。Riku は犬の散歩をしたかったが、Hana がまだ15歳なので、2人で猫の部屋の掃除を選ぶ。Hana は土曜の午前にピアノがあるため日曜に決まる。Riku は明日用紙を出すが、Hana は留守にしている母が29日に戻ってから署名をもらう必要がある。

問1　正解 ②（2点）　According to the notice, all first-time volunteers must ____ .

根拠は "New volunteers must join a one-hour session on June 6"。活動開始（7日・8日）の前にある短い研修のこと。1は "We will lend you gloves" と矛盾する。3は16歳未満だけの条件なので言い過ぎ。4は "Choose one day" なので違う。

問2　正解 ④（2点）　Riku and Hana will most likely ____ .

Hana は8月まで15歳で犬の散歩（16 and over only）ができず、Riku が "let's both take the cat room" と提案した。Hana は土曜の午前にピアノがあり "the other day is better" と言うので日曜になる。1は Riku の最初の希望だけに合う（半分だけ正しい）。2と3は曜日が違う。

問3　正解 ①（2点）　What does Hana need to do before she can hand in her application?

根拠は "My mom has to sign mine, and she's away until the 29th."。16歳未満は保護者の署名が必要。2は、15歳でも応募できるので違う。3は研修が締め切りより後の6月6日なので時のすり替え。4は Riku が出すのは自分の用紙なので本文に根拠がない。

語句　animal shelter＝動物保護施設　／　volunteer＝ボランティア（をする人）　／　signature＝署名・サイン　／　lend＝貸す　／　turn 16＝16歳になる　／　be away＝留守にしている　／　hand in 〜＝〜を提出する

第2問 （配点 12）アメリカの高校の学校新聞の記事「自転車通学をする生徒はなぜ少ないのか」（生徒500人への調査の報告）と読者2人のコメント

本文の要旨　アメリカの高校の新聞部が、9月に生徒500人へ通学の方法を尋ねた。自転車で来る生徒は6%だけだが、68%は使える自転車を持ち、58%は学校から3マイル以内に住む。体育館の裏の駐輪ラックは100台分あるが、使われるのは毎朝30台ほどである。乗らない470人の主な理由は「道路が危ない」39%が最も多く、48%は車と分けられた自転車レーンがあれば乗ってみると答えた。市は来春からレーンの工事を始める。新聞部は置き場を事務室の前へ移すのが良い第一歩だと考える。Priya は問題は盗難だとして移動に賛成し、Derek は道路が危ない間は変わらないと疑っている。

問1　正解 ③（3点）　The results of the survey show that ____ .

"68% own a bike in good condition" を about two thirds ... a usable bike、"Only 6%" を few と言い換えた3が正解。1は、最も多いのは車の52%でバスは31%。2は、58%が3マイル以内に住んでいるので本文と矛盾する。4は、盗難は19%で3番目、1番は「道路が危ない」の39%。

問2　正解 ①（3点）　One opinion (not a fact) expressed by the Journalism Club is that ____ .

意見の印は "We think" と "would be a good first step"。Moving the racks を putting the racks somewhere else、a good first step を a sensible start と言い換えた1が正解。2は市が決めたこと、3は置き場の大きさ、4は調査の結果で、本文には合うが事実であり意見ではない（事実と意見の区別）。

問3　正解 ④（3点）　According to the article, ____ .

"48% ... would try cycling" の48%を nearly half、would try cycling を might ride と言い換えた4が正解。1は、約4分の1（24%）は距離で、天気は10%。2は、3マイル以内は58%で、3分の2を超える68%は自転車を持つ生徒（数字のすり替え）。3は、工事は next spring に始まるので時のすり替え。

問4　正解 ②（3点）　From the comments, it can be said that ____ .

Priya は "Please move the racks!"、Derek は "I doubt moving the racks will change much" なので2が正解。1は、Priya は "safer than people imagine" と言うので Derek だけに合う（半分だけ正しい）。3は2人を入れ替えたもの（人のすり替え）。4は、Derek は "I take the bus" なので違う。

語句　bike rack＝自転車を止めて鍵を掛けるラック・駐輪場　／　survey＝〜にアンケート調査をする　／　in good condition＝良い状態の・問題なく使える　／　within three miles of 〜＝〜から3マイル以内に　／　protected bike lane＝車と分けられた自転車専用レーン（a lane separated from cars）　／　a good first step＝良い第一歩　／　theft＝盗難　／　I doubt (that) 〜＝〜ではないと思う・〜を疑う

第3問 （配点 9）留学生に町を案内する役を引き受けた高校生が、バスを乗り間違えて計画が崩れ、予定外の出会いから学ぶ物語（学校の英語ニュースレターの体験記）

本文の要旨 「私」はスペインからの留学生エレナに町を案内する役を引き受け、丁寧な予定表を作り、城と博物館の説明を英語で暗記し、前の週末には一人で道順も歩いた。しかし当日、メモばかり見ていてバスを乗り間違え、知らない住宅地で降りることになる。そこで見つけた豆腐店で、簡単な言葉と身ぶりで通訳をした。城には閉門後に着いて博物館も見られなかったが、エレナは「日本で一番の日」と言い、帰国前に豆腐店を描いた地図をくれた。今も予定は立てるが、余白を残すようになった。

問1　正解 ③（3点）　The writer and Elena arrived in an unfamiliar area because the writer ____.

第3段落の "reading my notes instead of checking the number on the bus" の言い換えが3。1は間違えたのが筆者なので「人のすり替え」。2は予定表を忘れたという根拠がない。4は本文の語句 "a quiet neighborhood" を並べただけで、そこへ行ったのは間違いの結果。

問2　正解 ② → ⑤ → ① → ④（3点）　Choose four out of the five options (1〜5) and put them in the order they happened.

起きた順は、前の週末に一人で道順を歩く(2)→当日、偶然見つけた豆腐店で味見をする(5)→城に着くと門が閉まっている(1)→先週の金曜日にエレナから手書きの地図をもらう(4)。地図の場面は冒頭にあるが、実際には一番後。3は "we never saw the museum" とあり、起きていない。

問3　正解 ④（3点）　What did the writer learn from this experience?

エレナの "you started talking with me" と最後の "now I leave some empty space in them" から、予定外の出来事が人を近づけると学んだと分かるので4。1は常識では正しいが本文にない。2は only を使った「言い過ぎ」。3は "I still make schedules" と矛盾する。

語句　hand-drawn＝手書きの、手で描いた　／　show 〜 around＝〜を案内する　／　memorize＝〜を暗記する　／　route＝道順　／　apologize＝謝る　／　steam＝湯気、蒸気　／　gesture＝身ぶり　／　leave empty space＝余白を残す

第4問 （配点 12）学校のニュースレターに載せる記事「屋上菜園プロジェクトの1年」の下書きと、先生のコメント

本文の要旨　理科棟の屋上を菜園に変え、毎日昼休みに屋上で活動する「グリーンルーフ・チーム」が、最初の1年を学校のニュースレターで振り返る記事の下書き。強い風で苗が折れたが、理科の先生に教わった低い網のフェンスで乗り越えたこと、料理部・美術部・1年生など普段は関わらない生徒がつながったこと、屋上の下の教室の温度が前の年の7月より約2度下がったことを述べている。先生は、つなぐ語句を足すこと、解決策が効いた理由の文を入れること、例に合う主題の文に直すこと、要点をまとめて参加を呼びかける結論にすることを助言している。

問1　正解 ②（3点）　Based on Comment (1), which is the best expression to add?

前の文は「屋根に強い日光が当たり、下の教室がとても暑かった」という問題、後の文は「屋根を菜園で覆うと決めた」という対応なので、原因と結果をつなぐ For this reason,（この理由で）が入る。For example, は例、In contrast, は対比、In the same way, は似た事柄の追加で、どれも前後の関係に合わない。

問2　正解 ④（3点）　Based on Comment (2), where is the best place to add the sentence below?
It kept out the wind but still let in the sunlight.

It は a low net fence を指すので、フェンスが初めて出てくる文のすぐ後の【D】に入れる。「風は防ぐが日光は通す」が、解決策がうまくいった理由になる。【A】【B】では It が指す物がまだ出ていない。【C】は風で苗が折れた直後で、kept out the wind と矛盾する。

問3　正解 ③（3点）　Based on Comment (3), which is the best sentence to replace the underlined one?

後の例は、料理部がトマトを使い、美術部が箱を塗り、チームに知り合いのいない1年生も水やりを手伝ったという話。共通点は「普段は一緒に活動しない生徒がつながった」ことなので3が合う。1は例と逆の内容。2の賞は本文に根拠がない。4は箱を塗ったのが美術部なので「人のすり替え」で、例の1つにしか触れていない。

問4　正解 ①（3点）　Based on Comment (4), which is the best way to rewrite paragraph [5]?

第2段落は苦しい出だしを乗り越えたこと、第3段落は生徒同士のつながり、第4段落は教室の温度が下がったこと。1はこの3つを言い換え、第1段落の works on the roof every day at lunchtime に合わせて、昼休みに手伝いに来るよう読者を誘っている。2は every classroom と must が「言い過ぎ」。3は第2段落のフェンスだけで、参加の方法もない。4は第2段落が抜けた「半分だけ正しい」まとめで、読者への誘いがない。

語句　flat roof＝平らな屋根　／　student council＝生徒会　／　net fence＝網のフェンス　／　keep out ～＝～を中に入れない、防ぐ　／　do the job＝役目を果たす　／　get over ～＝～を乗り越える　／　topic sentence＝段落の主題を述べる文

第5問 （配点 16）市の科学館が開く高校生向けの週末ワークショップ（お知らせ・講座の一覧表・変更を知らせるメール）

本文の要旨　パインウッド市の科学館が、10月の週末に高校生向けのワークショップを5つ開く。料金は講座ごとに違い、ユースパスを持つ人は1講座につき3ドル安くなる。後から届いたメールで、夜空の撮影は10月17日に移り、ロボットアームは料金が12ドルに下がって定員が24人に増えた。満員なのは台所の化学だけで、今からの申し込みは順番待ちになる。川の水の調査は場所が池に変わって集合が15分早くなり、気象観測のプログラミングはパソコンの代わりに USB メモリーを持って行く。

問1　正解 ②（3点）　According to the notice, students who register for the workshops will ____.

Payment に Pay the total for all your workshops ... when you come to your first one とあり、2 はその言い換え。1 は修了証が three or more workshops を終えた人だけ。3 は三日前までに連絡しないと料金がかかるので逆。4 の Youth Pass は割引の条件で、参加の条件ではない。

問2　正解 ①（3点）　You have a Youth Pass and decide to register for Build a Robot Arm and Code a Weather Station. Based on all three texts, how much will you pay in total?

メールで Build a Robot Arm は $12 に下がり、The Youth Pass discount still applies とある。割引は1講座につき $3 なので (12 − 3) + (15 − 3) = 21 ドル。2 は割引を1講座分しか引いていない。3 は表の古い料金で計算した誤答（資料の片方だけに合う）。4 は古い料金で割引もない。

問3　正解 ④（3点）　Your classmate wants to take one workshop. She will be away on the first weekend of October, has club practice every Saturday morning, and helps at her family's shop every Sunday. She does not want to be on a waiting list. Based on all three texts, which workshop should she choose?

Night Sky Photography はメールで Saturday, October 17 に移り、夜なので条件に合う。メールに Kitchen Chemistry は the only workshop that is already full とあるので、ほかの講座にはまだ空きがある。1 は日曜日、3 は土曜日の午前中。2 は All 20 places have been taken で順番待ちになる。表だけを読むと 2 を選んでしまう（資料の片方だけに合う誤答）。

問4　正解 ③（3点）　After the changes in the email, which of the following do participants NOT need to bring?

メールに We now have enough laptops ..., so you can leave yours at home とあり、パソコンは要らなくなった。1 は do not forget your jacket、4 は you will still need your boots とあるので必要。2 は変更がなく、表のとおり必要。

問5　正解 ②・⑤（4点）　Which two of the following are true about the workshops after the changes? (The order does not matter.)

Night Sky Photography が10月17日に移り、River Water Lab と同じ日になったので 2 が正しい。24 places instead of 16 から 5 も正しい。1 は早くなるのは集合だけで、終わりは as planned（半分だけ正しい）。3 は中止ではなく満員。4 は本文に根拠がない。

語句　apron＝エプロン　／　fee＝料金、参加費　／　cover＝（費用を）含む、まかなう　／　waiting list＝順番待ちの名簿　／　participant＝参加者　／　apply to ～＝～に当てはまる、適用される　／　as planned＝予定どおりに　／　be closed for repairs＝修理のために閉まる

第6問 （配点 12）社会人になった語り手が陸上部の元顧問と再会し、リレーの選手から外された高校2年の6月を思い出す物語（現在→10年前の回想→現在）と、発表用のアウトライン

本文の要旨　27歳のサキは、退職する陸上部の元顧問・岡部先生に会いに母校を訪れる。高校2年の6月、足首のけがを隠して走っていたサキは、大会の3日前に理由も告げられずリレーから外され、先生に信頼されなくなったと思い込んだ。それでも大会前日に後輩のリンへバトンの受け方を教え、チームは県大会に進んだ。10年後、先生がけがに気づいて自分を守るために外したこと、理由を伝えなかったのを悔やんでいることを知り、サキは感謝する。そして、部下に担当を外れてもらう話は理由をきちんと伝えようと決める。

問1　正解 ③・⑤（3点）　Choose the best two options for [A]. (The order does not matter.)

I had told neither my parents nor my teammates（足首のけがを誰にも言わなかった）から 3 が合う。Mr. Okabe had stopped believing in me を言い換えた 5 も合う。1 は my face was burning と合わず、本文に根拠がない。2 は I said nothing と矛盾。4 は2日間練習を休んだ後のことで、right away が違う（時のすり替え）。

問2　正解 ④ → ② → ⑤ → ①（3点）　Choose four out of the five options (1〜5) and put them in the order they happened for [B1] → [B2] → [B3] → [B4].

先生が氷で足首を冷やすサキを見たのは A week before I told the team で、発表より前（4）。本文では最後の場面に書かれているが、起きたのは一番早い。次に大会3日前の発表（2）、大会前日にリンへバトンの受け方を教え（5）、秋に第3走者に戻った（1）。3 は手紙が it stayed at the bottom of my bag のままで、渡していないので起きていない。

問3　正解 ②（3点）　Choose the best option for [C].

It was the hardest thing I ever said to a student と I should have told you the reason afterward が根拠で、2 はその言い換え。1 は Your times were still better than Rin's と逆（本文の語句を使った誤答）。3 は先生が当時のことを細かく覚えているので矛盾。4 は本文に根拠がない。

問4　正解 ①（3点）　Choose the best option for [D].

当時は my face was burning、something heavy stayed in my chest と傷ついていたが、現在は he had been watching me more closely than anyone else と気づき、Thank you と言っている。1 がその言い換え。2 は The stone in my shoe was gone と矛盾（半分だけ正しい）。3 は当時落ち着いて受け入れてはいないので違う。4 は proud が外される前の気持ちで、時のすり替え。

語句　retire＝退職する　／　the third leg＝（リレーの）第3走者の区間。本文の the third of our four runners（4人のうち3番目の走者）　／　prefectural competition＝県大会（市の大会 the city competition の次の大会）　／　neither A nor B＝A も B も…ない　／　stop believing in ...＝…を信頼しなくなる　／　win back ...＝…を取り戻す　／　take ... off the team＝…をチームから外す　／　afterward＝その後で

第7問 （配点 16）説明文「街の木はどのように都市を涼しくするのか」と発表スライドの下書き

本文の要旨　都市が暑いのは、アスファルトやコンクリートが昼に太陽の熱を吸収し、夜に放出するからである。街の木は2つの方法で都市を冷やす。1つは木陰で、葉が日光を遮るので地面や壁が熱くなりにくい。もう1つは蒸散で、葉から水が水蒸気になって出るときに周りの熱を奪う。高校生が授業で測った例では、木陰の道路は日なたより19度低かったが、気温の差は2度だった。ただし、雨が少ない時期には蒸散が弱まり、土が少ない場所の木や若い木は効果が小さい。人が集まる場所に、枝葉が広がる木を、十分な土と水とともに植えることが大切である。

問1　正解 ②（3点）　Choose the best option for [1] on Slide 1.

第1段落の paved（硬い材料で覆われた）地面について These hard, often dark surfaces take in the sun's energy all day and slowly release it after sunset とあり、これを言い換えた2が正解。1は the main cause is the surfaces とあるので only が言い過ぎ。3は夜も暖かいという内容と矛盾する。4は熱の出どころが本文と違う。

問2　正解 ③・⑥（4点）　Choose the best two options for [2] and [3] on Slide 2. (The order does not matter.)

3は第2段落の only a small part passes through の言い換え。6は第3段落の energy is taken as heat from the leaf and the surrounding air に合う。1は反射は一部だけで all が言い過ぎ。2は根が運ぶのは水（本文の単語を並べただけ）。4は本文にない。5は水は vapor として出ていく。

問3　正解 ④（3点）　Choose the best option for [4] on Slide 3.

第4段落の高校生が測った数字を比べる。アスファルトの道路は52°Cと33°Cで差は19度、気温は34.5°Cと32.5°Cで差は2度なので4が正解。1は地面の差19度を気温の差にすり替えたもの。2は公園31°C、木のある通り32.5°Cで同じではない。3は日陰の道路33°Cと気温32.5°Cの差は0.5度しかない。

問4　正解 ①（3点）　Choose the best option for [5] on Slide 4.

第5段落の a tree closes the openings in its leaves to save water を言い換えた1が正解。2は逆で、乾いた時期には水蒸気を出す量が減る。3は Shade ... continues as long as the leaves remain と矛盾（2つの働きのすり替え）。4は rainwater runs away into pipes under the road と矛盾する。

問5　正解 ③（3点）　Your school wants to make the paved courtyard where students eat lunch cooler in summer. Based on the article, which plan would work best?

最終段落の考え方（人がいる場所に、樹冠が広がる木を広い土に植え、雨水を根に導く）を全部満たす3が正解。1は one old tree can do the work of many newly planted ones に反する。2は small holes in the pavement では木が育ちにくい（半分だけ正しい）。4は生徒がいる場所ではない。

語句　along both sides＝両側に沿って　／　take in / release＝取り込む / 放出する　／　vapor＝水蒸気　／　transpiration＝蒸散（葉から水が水蒸気になって出ていく働き）　／　paved / pavement＝（アスファルトなどの硬い材料で）舗装された / 舗装された地面　／　class project＝授業の課題として行う調査　／　crown＝樹冠（木の上部の枝と葉の集まり）　／　draw ~ up＝〜を吸い上げる

第8問 （配点 17）賛否のあるテーマ「学校は紙の教科書をやめて、デジタル教科書に全面的に切り替えるべきか」（5人の意見・自分の立場・エッセイのアウトライン・資料A・資料B）

本文の要旨　学校が紙の教科書をやめてデジタル教科書に全面的に切り替えるべきかについて、高校生と市の教育担当者は賛成（かばんが軽い、音声が聞ける、内容をすぐ更新できる、長い目では安い）、英語の先生は先生への研修を条件に賛成、保護者と養護の先生は反対（長時間の画面は目や体に負担を掛ける）の立場である。資料Aは、全面的に切り替えた町で費用がかえって増え、一部の教科で紙に戻すことになった例を示す。資料Bは、長い文章ほど、タブレットで読んだ生徒の得点が紙より低く、集中も切れやすいことを示す。

問1　正解 ②（3点）　Which of the following best summarizes Author E's opinion?

Eは expensive in the first year と認めたうえで、内容をすぐ更新できる・文字を大きくできる・10年では支出が減る、と利点を挙げて切り替えを進める立場なので2が正解。1は待つべきだとは言っておらず結論が逆。3は本文の単語を並べただけ。4は節約できるのは Over ten years で、時のすり替え。

問2　正解 ④（3点）　Both Authors A and C mention that ____.

Aは I can hear it read aloud, so I practice pronunciation、Cは The sound function is excellent for language learning と述べ、どちらも音声が語学に役立つと言うので4が正解。1はAだけ、2はCだけの内容（資料の片方だけに合う）。3はEの意見で、人のすり替え。

問3　正解 ②・④（順不同）／③（4点）　Choose the best options for [X], [Y], and [Z] in Step 2.

全面的な切り替えに反対しているのはBとDの2人だけ。Aは紙がなくなることを望み、Cは研修を条件に賛成、Eは切り替えを進める立場。Bは娘の目の疲れと寝つきの悪さ、Dは頭痛・目の乾き・首の痛みを挙げており、共通点は3の「長時間の画面は体に負担を掛ける」。1はBだけの内容（半分だけ正しい）。2は本文にない。4はCの意見で人のすり替え。

問4　正解 ①（3点）　Based on Source A, which of the following is the most appropriate for Reason 2?

資料Aでは The savings never came とあり、教材への支出は生徒1人当たり年90ドルから140ドルに増えたので1が正解。2は Test scores have stayed about the same と矛盾。3は最初の2年間は生徒も先生も pleased だったので矛盾。4は買い替えは支出が増えた原因であり、原因と結果が逆。

問5　正解 ③（4点）　For Reason 3, you have decided to write, "Students understand long texts better on paper than on a screen." Based on Source B, which option best supports this statement?

長い文章では紙が71点、タブレットが58点で差は13点。集中が切れた人は18%と45%で、45÷18＝2.5倍なので3が正解。1は差が短い文章で1点、中くらいで5点しかなく every が言い過ぎ。2は紙とタブレットの数字が逆（すり替え）。4は紙も78→74→71と下がっているので間違い。

語句　switch completely to ...＝〜に全面的に切り替える　／　read aloud＝声に出して読む、読み上げる　／　update＝（内容を）更新する、新しくする　／　fee＝料金、利用料　／　be hard on ...＝〜に負担を掛ける、〜にとってつらい　／　lose focus＝集中が切れる　／　long-term effect＝長い期間にわたる影響